

# 株式会社 マルゼン 研究開発センター



今月のゲスト

## 株式会社 マルゼン

研究開発センター 丹羽 春菜さん



### 厨房業界と現在の会社に入ったきっかけについて教えてください。

学生時代、材料について学び、就職活動の時に材料と機械は密接なつながりがあると考えていたので、機械設計に挑戦したいと、色々な業種を幅広くみていました。

その時に、家庭用でなく、業務用の厨房機器を専門に扱っている厨房業界の存在を知りました。外食が楽しみのひとつでしたので、大学に来ていた求人票を見ながら電話をかけ、機械科の募集でしたが、お願いして面接を受けさせていただくことになりました。

学生時代は機械とは別分野だったので、採用されるかどうか、また、入社後に本当にやっていけるかどうかの不安だけでしたが、面接の時にはどうしても食にかかわる機械を作りたいという気持ちしかありませんでした。熱意をアピールした結果か、新製品を設計する部署に配属していただけることになりました。最初は、業務用の厨房という漠然としたイメージしかありませんでしたが、今では外食をする度に、どんな機械を使っているか気になり、お店の厨房は必ずチェックしてしまいます。



### お仕事の内容は？ やりがいは？

私は、製品の設計・試作機の組立・実験等の新製



品開発に必要な一連の業務を行っています。

面接時の意欲をかっていただけたのか、1年目から新製品の開発に携われ、最初は製品を形にすることで精一杯で、当時のことは毎日必死だった記憶がありません。当初から感じていた、物作りの大変さとおもしろさは入社してから日々ずっと続いています。

ただ、初めて自分が作った製品がかたちになり、カタログに掲載され、実際に納品したお客様の所に伺った時、すごく感動しました。ずっとはりついて使用状況を見ていたので、お客様からも「思い入れがすごいね」との言葉を戴きました。製品を使用して下さるお客様から、今までよりも使いやすくなったと言っていたと非常に励みになります。



### 今後のあなたの夢を教えてください。

自分が考えたものがそのままかたちになるかと言うと、経験不足・力不足から思うようにいかないことも多いです。やはり、機械の設計をしているので、自分が関わった製品で、良くしようと考えたオリジナルな部分でお客様に喜んでいただきたいという思いが強いです。その為には、まずは目の前の業務をひとつひとつしっかりこなし、より良い製品作りを積極的に行っていきたいと考えています。

### 職場の方からエール

彼女の設計思想には、女性ならではの気配りが行き届き、常に使用する人の立場を配慮した創作が多く感じとれます。上長としても見習うべき感性でもあり、今後もよりいっそう、魅力ある製品開発に貢献して戴くことを期待しております。

(研究開発センター 課長 石川智行)

